



東北大学



平成27年4月14日

報道機関各位

東北大学災害科学国際研究所

**震災の教訓に関する2つのデータベース  
「3.11からの学びデータベース」  
「震災教訓文献データベース」  
を公開しました**

災害に強い社会をつくる上では、まず過去の例、特に「教訓」を学ぶことが重要です。通常、大学・研究機関では、学術論文・書籍・講演等によって、研究によって得られた知見の発信を心がけていますが、一般的に広く目にする機会は多くないと思います。

東北大学災害科学国際研究所では、「教訓」に関する情報のみを取り上げて、検索しやすくかつインターネットで閲覧できるウェブサイトとして以下2つのデータベースを構築・公開いたしました。

「3.11からの学びデータベース –IRIDeSから発信する東日本大震災の教訓空間–」

<http://311manabi.irides.tohoku.ac.jp>

「震災教訓文献データベース –論文・報告書がしめす震災教訓の検索システム–」

<http://edbunken.irides.tohoku.ac.jp>

つきましては、本データベースを紙面・番組等でご紹介くださいますよう、広報へのご支援をお願いいたします。

■お問い合わせ先

東北大学災害科学国際研究所

責任者：今村文彦（所長・教授）

開発・運用担当：佐藤翔輔（助教）

TEL&FAX 022-752-2099

[ssato@irides.tohoku.ac.jp](mailto:ssato@irides.tohoku.ac.jp)

## 【詳細】

### ● 「3.11 からの学びデータベース」

調査・研究で得られた災害に関する「教訓」に特化し、「あのときの教訓は何だったのか」を簡易的に調べられる参考サイトとして公開しています。各「教訓」は、当研究所の教員が、出典とともに、なるべく平易にわかりやすく解説を行っています。現在、本データベースには、約 100 件の「教訓」が掲載されています。

The screenshot shows the homepage of the '3.11からの学びデータベース' (3.11 Learning Database). The page has a blue header with the title and a search bar. Below the header, there are navigation links for 'トップページ', '調べる', '3.11からの学びデータベースとは', and '関連リンク'. The main content area is divided into four columns: '登録者' (Registered Users), '対象' (Target), 'カテゴリ' (Category), and 'フェーズ' (Phase). Each column contains a list of items related to the 3.11 disaster.

登録者	対象	カテゴリ	フェーズ
佐々木宏之 丸谷浩 明 富田博秋 村尾修 伊藤潔 ジェレミ ー・ブリッカー 久 利美和 大野晋 松本 行真 日野亮太 杉浦 元亮 越村俊一 サッパ シー・アナワット 井内加 奈子 今村文彦 佐藤翔輔 千田浩一 安倍祥 栗山進 一 福谷潤 綿井義夫 金進 英 三浦晋 中山雅晴 五十子	自治体 住民 医療機 関 国 企業 研究機 関 気象庁 マスコミ 政 府 研究者 医療会館 土木コ ンサル 学会 学校 消防 警 察	受援計画 津波避難 災害医療 建物被害 災害情報 組織対応 被害想定 ハザード 評価 健康問題 こご ろのケア コミュニ ティ 津波被害 BCP 災害伝承 耐震 観測 防災教育 高台移転 まちづくり ライフライン 仮設住宅 備蓄 原発避難	事前 応急 緊急 復 旧・復興 事前、応急

図1 「3.11からの学びデータベース」のトップ画面

● 「震災教訓文献データベース」

震災に関する調査・研究について記述された論文，報告書といった文献中に見られる「教訓」を整理し，それを公開して，簡易的に検索できるデータベースを作成しました。具体的には，論文，報告書の「結語」に着目して，それを「教訓」と読み替え，テーマ，フェーズ，空間，立場などのタグを付与して，検索できるようにしています。本データベースには，約 4,000 件の「教訓」が掲載されています。



図2 「震災教訓文献データベース」のトップ画面

2つのデータベースでは，「教訓」ごとにタグ付けを行っており，ウェブサイト上で簡単に「教訓」を閲覧することができます。「3.11 からの学びデータベース」は，登録者，対象，カテゴリ，フェーズ，場所で，「震災文献教訓データベース」は，作成者，雑誌名，学会名，災害名，対象，フカテゴリ，フェーズ，場所をキーにして検索することができます。タグを使った検索は，トップ画面で，タグクラウドをクリックしたり，詳細検索場面で複数選択して行うことができます。このほか，フリーワードによる全文検索を行うこともできます。

表1に，「教訓」に関する2つのデータベースの特徴を示しています。「3.11 からの学びデータベース」は，研究者とキュレーター（データベース管理者）が，「教訓」の一つ一つを編集して掲載しています。そのため，多くの「教訓」をアップロードすることはできません。他方，「震災文献教訓データベース」は，発行されている学術論文や報告書の結語部分を機械的に抽出・整理して，大量の「教訓」を掲載しています。一方で一つ一つは精査しておらず，内容に重複があるものもあります。このように，2つのデータベースは，質と量の面の特徴を相互に補完しています。

表1 2つのデータベースの特徴

	対象となる 災害	情報源	質	量
3.11 からの 学びデータベース	東日本大震災	研究者による 登録	○	△
			研究者とキュレーターによっ て一つずつ編集	
震災教訓文献 データベース	東日本大震災, 明治・昭和三陸 地震津波, 阪 神・淡路大震災, 中越地震, 中越 沖地震	公開されてい る学術論文・ 報告書(結語 部分)	△	○
			大量の論文・報告書を機械的に 整理	

なお, 本データベースは, 次の助成をいただいています。

「3.11 からの学びのデータベース」

科学研究費 基盤研究 (S)「国難」となる最悪の被災シナリオと減災対策  
(代表: 河田恵昭 (関西大学), 分担: 今村文彦 (東北大学))

「震災教訓文献データベース」

文部科学省委託事業「南海トラフ広域地震防災研究プロジェクト」  
(サブテーマ1 地域連携減災研究

①東日本大震災の教訓活用研究 (主幹: 東北大学災害科学国際研究所))



**3.11** 学びデータベース **3.11からの学びデータベース**  
 - IRIDeSから発信する東日本大震災の教訓空間 -

[トップページ](#)
[調べる](#)
[3.11からの学びデータベースとは](#)
[関連リンク](#)

[調べる](#)
[検索](#)

登録者	対象	カテゴリ	フェーズ	場所
松本行真	自治体	受援計画	事前	医療機関
日野亮太	<b>住民</b>	<b>津波避難</b>	応急	沿岸
杉浦元亮	医療機関	災害医療	緊急	被災市町村
越村俊一	国	建物被害	復旧・復興	海底
サッパシー・アナ ワット	企業	災害情報	事前, 応急	大都市部
井内加奈子	研究機関	組織対応		工場・オフィス・商店
<b>今村文彦</b>	気象庁	被害想定		気象庁
佐藤翔輔	マスコミ	ハザード評価		海洋
千田浩一	政府	健康問題		物資輸送の各現場
安倍祥	研究者	こころのケア		都心部
栗山進一	医療会館	コミュニティ		
福谷陽	土木コンサル	津波被害		
細井義夫	学会	BCP		
	学校	災害伝承		

図5 詳細検索の表示例（「3.11からの学びデータベース」）